

2019年3月27日

報道関係各位

株式会社ビジョナリーホールディングス
JASDAQ・コード 9263

メガネ型ウェアラブル端末「b.g.(बीジー)」 企業・法人向けの納品を開始

～本日2019年3月27日(水)から、先行受注分の納品を開始～

～「b.g.」の機能を最大限活用するためのイケアサポートメニューも併せて提供～

株式会社ビジョナリーホールディングス（本社：東京都中央区、代表取締役社長：星崎尚彦、以下「ビジョナリーホールディングス」）の子会社である株式会社Enhanlabo（本社：東京都中央区、代表取締役社長：座安剛史、以下「エンハンラボ」）は、「視覚拡張」をキーコンセプトに企画・開発を進めてきたメガネ型ウェアラブル端末「b.g.（ビージー）」を、本日2019年3月27日（水）から、企業・法人向けに納品を開始いたしました。また「b.g.」の納品に併せ、装用者が「b.g.」の機能を最大限活用できるようにするためのイケアサポートメニューの提供も開始いたします。



【「b.g.」装用イメージ】

●初回製造ロットは全て受注（予約）済

過去に出展したウェアラブル EXPO 等、これまでの活動を通じて開拓した BtoB 各事業領域における顧客企業・法人等へのアプローチを続けてきた結果、初回製造ロットについては現時点で全て受注済となっております。医療、製造業、建設業、住宅、福祉など多岐の業界に渡る 50 強のアカウントに順次納品してまいります。（※売買約款に基づく製品の保証期間は 1 年間）

従前の実証実験等により各企業における「b.g.」の活用領域の特定を進めてきましたが、今後は納品後のフォローを通じて納品先企業での使用状況を確認しながら、納品数量の積上げ、活用領域の拡大によるリピートの受注獲得を目指します。また同時に受注数増加に向けて、安定供給可能な量産体制の構築を進め、速やかな納品・収益化の実現を図ってまいります。

納品予定企業（一例） ※順不同	用途
株式会社インフォファーム	補助金事業での AI 動線管理実証実験での活用。製造ライン異常時の通知アラート表示ツールとして使用
株式会社谷沢製作所	ヘルメットメーカーとの連携。ヘルメット装着のタッチメント開発や自社開発の遠隔支援ソリューションとのセット販売を見込む
ティック株式会社 (シップヘルスケアホールディングス グループ会社)	医療分野で協業。複数の医療関係施設へ導入が決まっている
川崎医療福祉大学	研究開発での活用 (b.g. で自閉症児の感覚特性を察知し、支援者に児の特性を伝えるアプリを開発中。自閉症児の感覚特性を深層学習により察知し、適切な介入を得るための支援アプリは、その時その場で必要な情報を b.g. に投影することで、親や支援者は困難に遭遇している児から視線を外すことなく対処手段を知ることができる)
株式会社アルファネット	短期利用者に向けてのレンタルやリースでの b.g. 導入をテスト中。同社は大手企業のイベント企画などを手がけ、展示会における自社での利用シーンにおいて実証をすすめている

●アイケアサポートメニューの提供

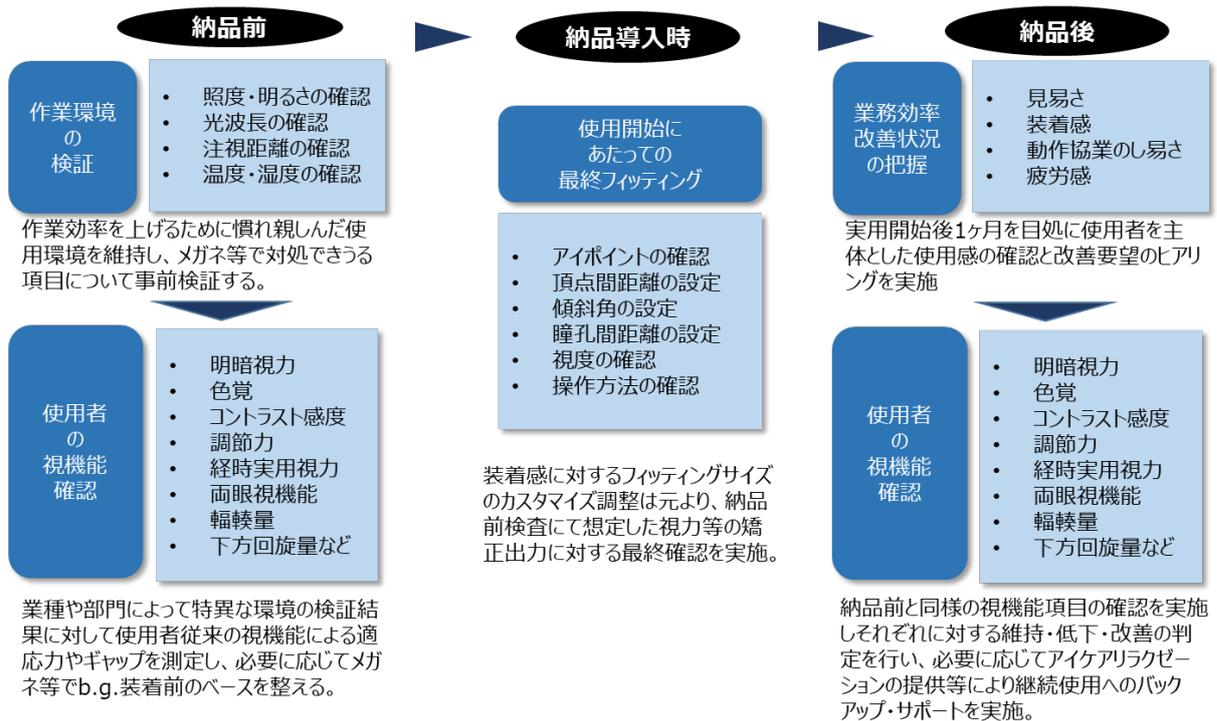
「b.g.」の設計思想は「見え方」「かけ心地」を重視しており、ビジョナリーホールディングスが推し進める「アイケア」に立脚し開発されています。その「見え方」については「両眼視を前提とした設計」と「ノンシースルーディスプレイの採用」が大きな特長です。個人ごとに異なる瞳孔間距離に合わせて調節することができ、ディスプレイに表示される情報が非常に鮮明に見えながらも、実際の視界も広く保たれる構造となっています。

ハードウェアとして「見え方」に高い評価を頂いている「b.g.」ですが、装用者が「b.g.」本来の機能を継続的に最大限活用し続けるには「装用者の眼の状態を適正化すること」が重要となります。「b.g.」のように視覚に関わるデバイスの利用においては、「装用者の眼の状態」がデバイスを視るために適切な状態になっていない場合、十分な満足が得られにくいいため、「b.g.」はオーバークラスタイプの設計を採用しており、視力矯正が必要な方が、ご自身の眼の状態に最適なメガネをかけたまま「b.g.」を装着できる仕様となっています。



【「オーバークラス型の製品設計」メガネの上からも着用可能】

こうしたことから、ビジョナリーホールディングスでは「b.g.」導入前後に、装用者の作業環境や使用者の視機能に対応した「アイケアサポートメニュー」を提供いたします。「b.g.」導入先の顧客企業・法人が「b.g.」の機能を最大限にご活用いただけるようにしながら、装用者の「眼の健康」へのケアを同時にご提供していくことで、アイケアカンパニーのビジョナリーホールディングスだからこそできる、オンリーワンのサービス提供を目指してまいります。



【「b.g.」 + 「アイケアサポートメニュー」のフロー】

●ウェアラブル事業を通じた BtoB の取込～アイケア市場の拡大～

ビジョナリーホールディングスでは今後、既存事業の核である BtoC 事業に加え、BtoB での事業拡大を進めていきます。既に展開している出張訪問サービス、卸売事業の本格展開に加え、ウェアラブル事業を通じた BtoB の取込を図って行きます。アイケアサポートメニューの提供を通じて「b.g.」の端末販売に留まらない収益の追求とアイケアカンパニーならではのビジネスモデルの構築を目指すとともに、BtoB で接点を持った顧客に対しビジョナリーホールディングスのアイケアサービスの認知を上げ、ご本人をはじめ、職場の方やご家族、ご友人の方々がビジョナリーホールディングスグループ各店舗をご利用いただける流れをつくることで、BtoC 事業へのシナジーを目指してまいります。